

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。取り付け前に本説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。誤った取り付けは、思わぬけがをするおそれがあるのでおやめください。施工後は、ご使用になられる方へ本説明書をお渡しし、いつでも読めるよう保管してください。

- 本製品は扉用スイングリフトダウン金具です。これ以外の使用方法や、使用範囲外の扉に使用したことによる故障、けがなどにつきましては、その責任を一切負いかねますのでご了承ください。
- 本説明書の製品内容は、部品としての品質範囲です。本製品を使用した最終製品の機能・性能・安全性を保証するものではありません。
- 必ず最終製品でのご確認をいただくよう、お願いいたします。
- 製品については万全を期しておりますが、万一不良品があった場合、ご購入先へお問い合わせください。
- 保証期間は弊社納品書発行日から1年間とさせていただきます。良品との交換をもって責任の範囲とさせていただきます。但し、ダンパー部分の不具合につきましては、ダンパー本体のみ良品との交換をもって責任の範囲とさせていただきます。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めてふきとってください。アルコールやシンナーなど揮発性のものは表面の仕上げを傷めるので、使用しないでください。

注意 以下の注意事項を守らないと、思わぬけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりするおそれがあります。

施工上の注意

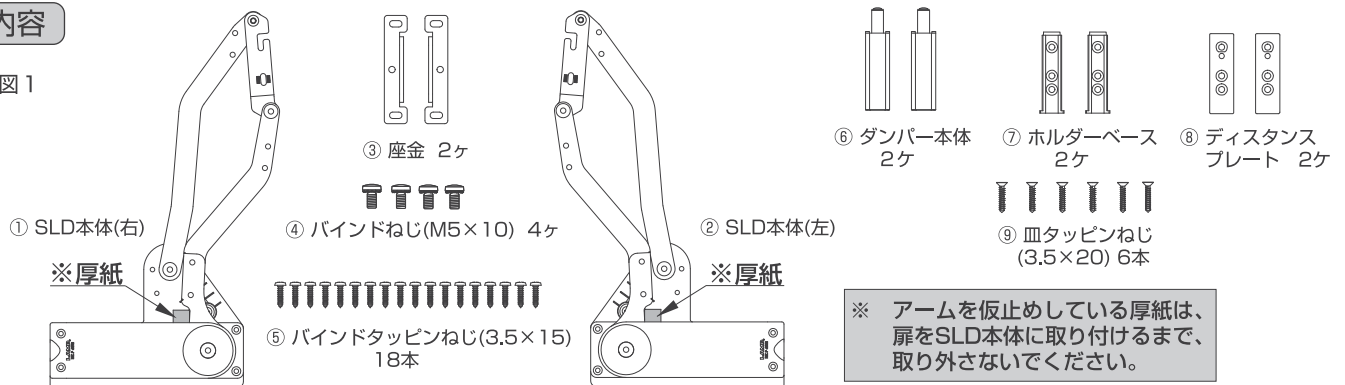
- 本製品は、必ず左右セットでご使用ください。
- 本製品で使用する扉は、幅方向の中央に必ず取手を取り付け、取手を持って開閉してください。
- キャビネットおよび扉は水平、垂直に製作してください。
- 本製品の取付位置は、必ず指定寸法、水平、垂直度に注意して正しく行ってください。指定寸法以外での取り付けや傾きは、本製品の性能が発揮できないばかりではなく、破損等により思わぬけがをするおそれがあります。
- ばね力調節は、左右のねじ調節量が同じになるよう調整してください。差異があると、左右どちらかの製品に荷重負担が集中し、製品の寿命や機能に影響する可能性があります。
- 扉は反り、ねじれが発生しにくい構造にしてください。

使用上の注意

- 扉を開ききった状態からさらに開いたり、必要以上の力で扉を閉めたりなど無理な扉の開閉は故障の原因となるので、絶対におやめください。
- ご使用になる際は、アームに指をはさまないようにご注意ください。思わぬけがをするおそれがあります。
- 本製品の使用温度範囲は5℃～35℃です。温度変化により扉の開閉速度が変化しますが、故障ではありません。
- 使用温度範囲以外でのご使用はおやめください。発熱するマイクロオープンレンジ等のキャビネットには絶対に使用しないでください。
- 本製品の分解、改造は決して行わないでください。
- 取付ねじにゆるみがないことを定期的に確認してください。ゆるみがあった場合は、増し締めしてください。

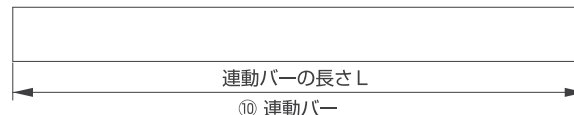
製品内容

図1



別売

※必ず使用する別売り品



機種の種類

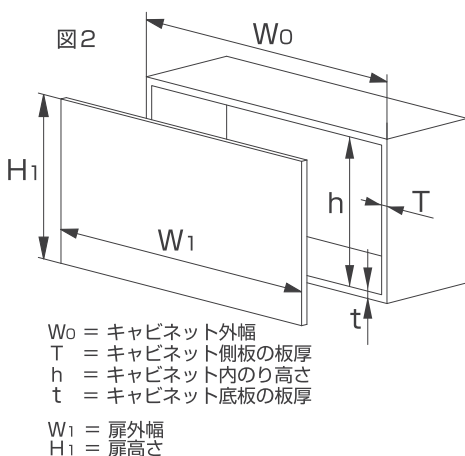


表1. 適用扉質量

機種	扉質量[kg]
SLD-3	3.0～4.0
SLD-4	4.0～5.0
SLD-5	5.0～6.0

表2. 使用範囲

	寸法 [mm]
キャビネット幅 (W ₀)	600、900
扉高さ (H ₁)	360～400

表3. 連動バーの長さL

	キャビネット幅 600用 [mm]	キャビネット幅 900用 [mm]
アームA部(木扉)	535	835
アームB部(ガラス扉)	551	851

- ・本製品は表1.の適用扉質量にしたがって機種を選択してください(取手質量を含む)。
- ・表3の寸法は、キャビネットの側板 T が15 [mm]の際の、弊社標準在庫品です。側板の板厚(T)が15 [mm]以上の場合は、下記の計算式に従って連動バーを切断加工してください。

アームA部の場合: $L = W_0 - (T \times 2) - 35$

アームB部の場合: $L = W_0 - (T \times 2) - 19$

※アームA部とB部で、連動バーの長さが異なるのでご注意ください。

※上記キャビネット以外への取り付けの場合は、弊社営業担当者までお問い合わせください。

本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口をお願いいたします。

電話番号 03 (3864) 1122

受付時間 月～金 9:00～17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

SUGATSUNE

スガツネ工業

LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録
※ISO9001: 物流 WEST を除く、国内拠点 ※ISO14001: 千葉工場および物流センター (SBC)
http://www.sugatsune.co.jp/

2018.04 0572-6

取付寸法図

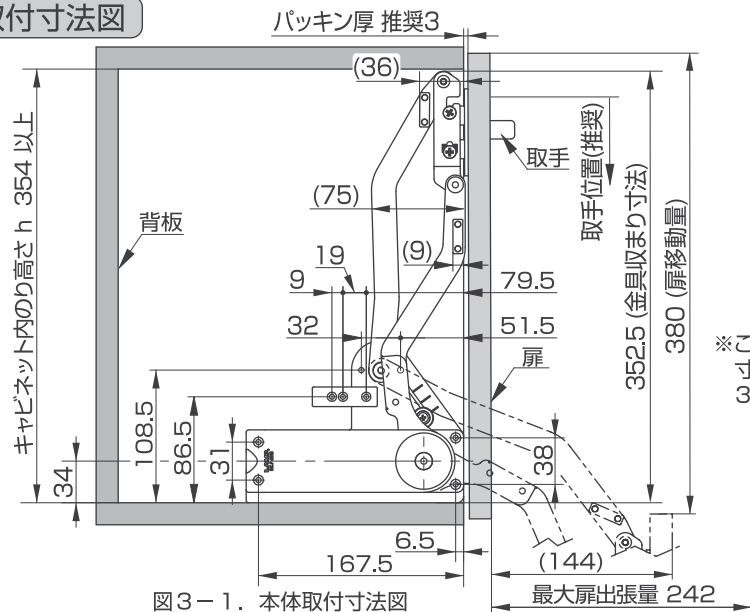


図3-1. 本体取付寸法図

$$B = 302 + t - C$$

$$D = 13 + T - \left(\frac{W_0 - W_1}{2} \right)$$

W_0 = キャビネット外幅

T = キャビネット側板の板厚

t = キャビネット底板の板厚

W_1 = 扉外幅

C = 下側目地(2.0以上)

※この取付位置は、3[mm]のパッキンを使用したときの寸法です。パッキンを使用しない場合は、製品を背板側に3[mm]ずらしてください。

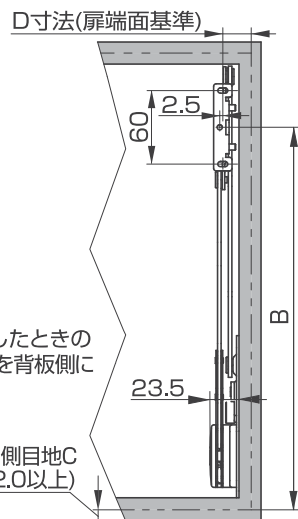


図3-2. 座金取付寸法図

取付手順

1.SLD本体の取り付け

- (1) ①②SLD本体をキャビネット内側の下部および間口前面に合わせ、付属の⑤取付ねじ(3.5×15)で固定します(図3-1、図4)。

※アームを仮止めしている厚紙は、扉をSLD本体に取り付けるまで、取り外さないでください。

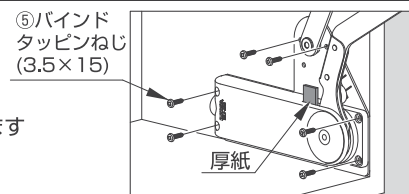


図4

2. 扉の取り付け

- (1) 座金を扉裏面の規定位置に、付属の⑤取付ねじ(3.5×15)で確実に固定します(図3-2)。
※長穴を仮固定し、扉の横方向の位置が確定次第、丸穴を固定してください(図10、調節方法参照)。

- (2) 扉に取手を取り付けます。
※取手は、③座金の上端を限度に、なるべく下に取り付けてください(図3-1)。

- (3) ③座金に、④座金連結ねじ(M5×10)をねじ込んだ後、SLD本体のアーム先端の座金に引っ掛け、最後に長穴を④座金連結ねじ(M5×10)で固定します(図5)。

④バインドねじ
(M5×10)

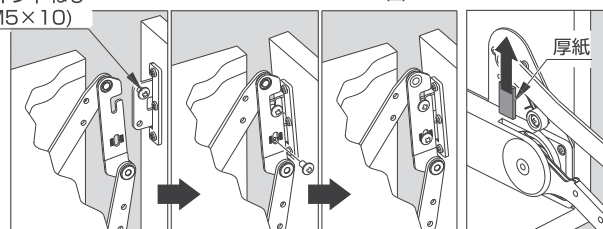


図5

図6

- (4) 扉を開け、左右のSLD本体からアームを仮止めしている厚紙を、上に引抜いて取り外します(図6)。

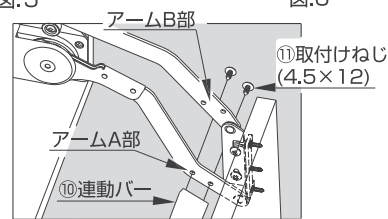


図7

3. 連動バーの取り付け

- (1) アームA部の所に、⑩連動バーを⑪取付ねじ(4.5×12)で確実に固定します(図7)。
扉中央部がガラスの場合などで、連動バーを目立たせたくない場合は、アームB部の所で同様に固定できます。
※連動バーの長さが異なりますのでご注意ください。
※連動バーが緩んだ場合は、再度⑪取付ねじ(4.5×12)を増し締めしてください。

4. ダンパーの取り付け

- (1) ⑧ディスタンスプレートおよび、⑦ホルダーベースを、付属の⑨取付ねじ(3.5×20)で取り付けます(図8)。

- (2) ストッパーが長円穴の一番下にあることを確認し、SLD本体のアームを図9のように下げた状態で、⑥ダンパー本体を前からスライドさせて取り付けます。

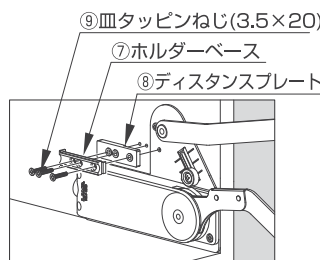


図8

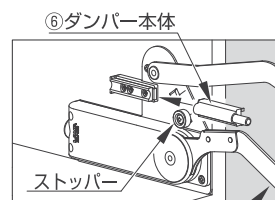


図9

調節方法

1. 高さ方向

- (1) aねじを緩めます。
- (2) 扉を上下に調節します。
- (3) aねじを確実に締め付けます。

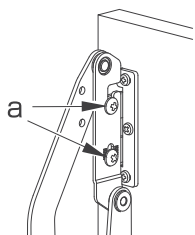


図10

2. 横方向

- (1) 扉を外し、bねじを緩めます。
- (2) 座金を左右に調節した後、bねじを締め付けます。
- (3) 扉を取り付け、左右の位置を確認します。
- (4) 左右の位置が確定したら扉を外し、cねじ(座金の丸穴)を固定します。

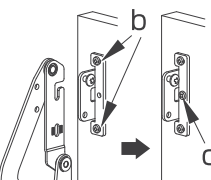


図10

キャビネット

3. 扉ストローク量

- (1) eねじを緩めます(図11)。
- (2) 扉が左右共に、任意の同じ高さで止まるようにストッパーを調節します。
- (3) eねじを確実に締め付けます。

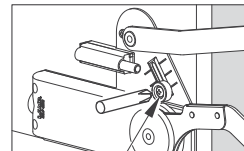


図11

4. ばね力調節

- (1) 本体後部のばね力調節ねじで、扉を保持する力を調節してください。
調節は、六角棒スパナ(呼び5)で行ってください(図12)。本体後部から見て、右に回すと扉を支える力が強くなり、左に回すと弱くなります。
※六角棒スパナ(呼び5)は、お客様でご用意ください。



図12

△ 必要以上にばね力調節ねじを回すと、製品が破損するおそれがあるのでおやめください。